




WWW

ダブルユース


第9話






ルルの  
活躍によって

鎖の拘束から  
脱出した  
アネッタと  
エリーゼ



しかしルルは  
バーンに  
連れ去られて  
しまい

バボックが  
その行く手を  
阻む



ルルを  
救うため

闘いの  
幕が  
開ける



反撃開始と  
行きますか

さあ



お

ルルを  
お願い



アネツタ



次は  
負けない  
わよ

もちろん



へえ  
任せて  
いいの？

そっちこそ  
バーンて人に  
負けないで  
よね



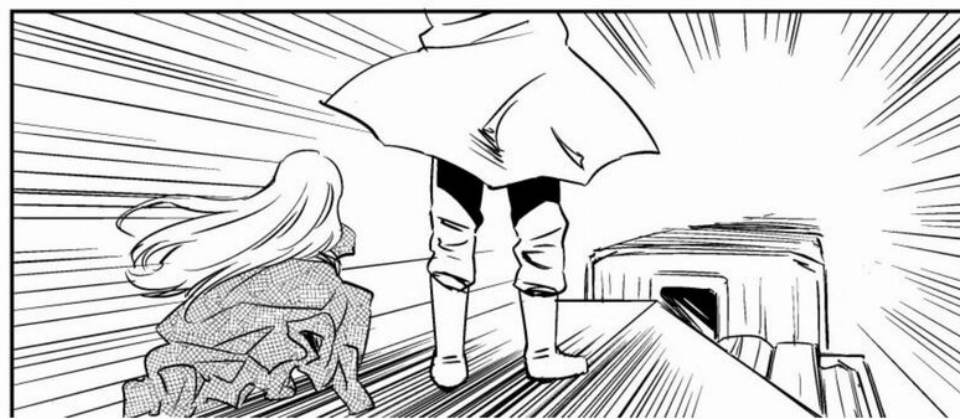
行かせ  
るか!!



貴方の  
相手は  
こっちよ!!

ちっ







アネッタさん

ルル!!

今 助ける



そうは 行かないぜ



悪いな

これも 仕事 なんでね



うわ っ

厄介な 炎ね



.....

一つだけ 訊いても いいかしら

それ  
フェムナ鉱石の  
力でしよう



両手の腕輪に  
埋め込んでる  
のね

よく  
分かったな

俺の  
大切な  
「恋人」さ

炎を操る  
鉱石なんて  
見た事  
ないわ

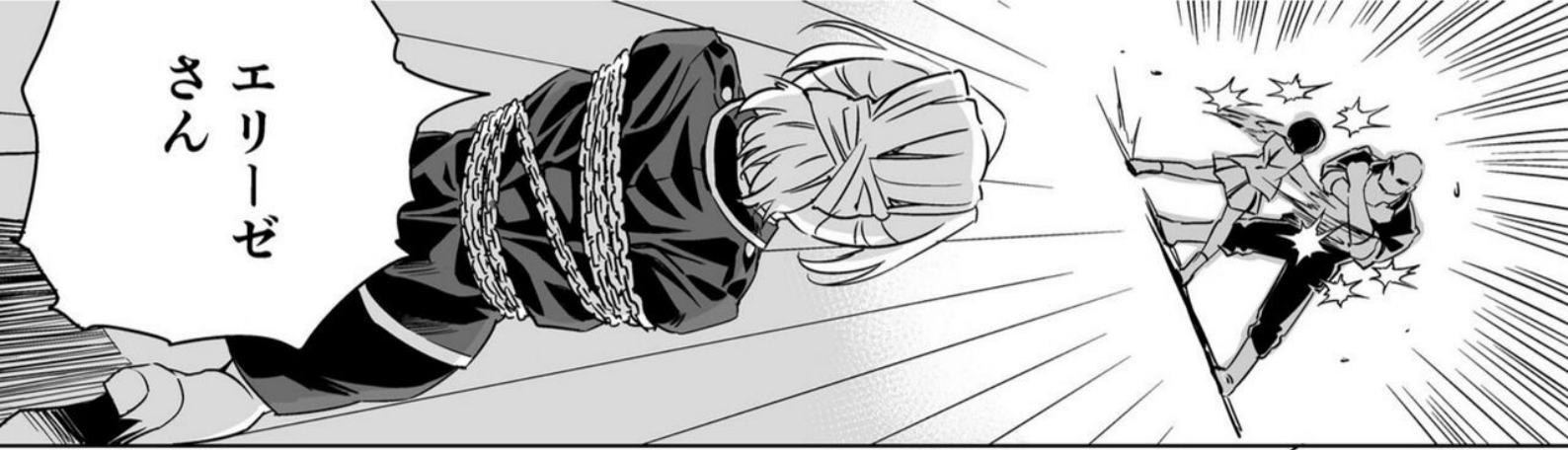
……  
貴方  
何者なの？

俺に  
勝ったら  
教えて  
やるよ

うおおおお

あああああ



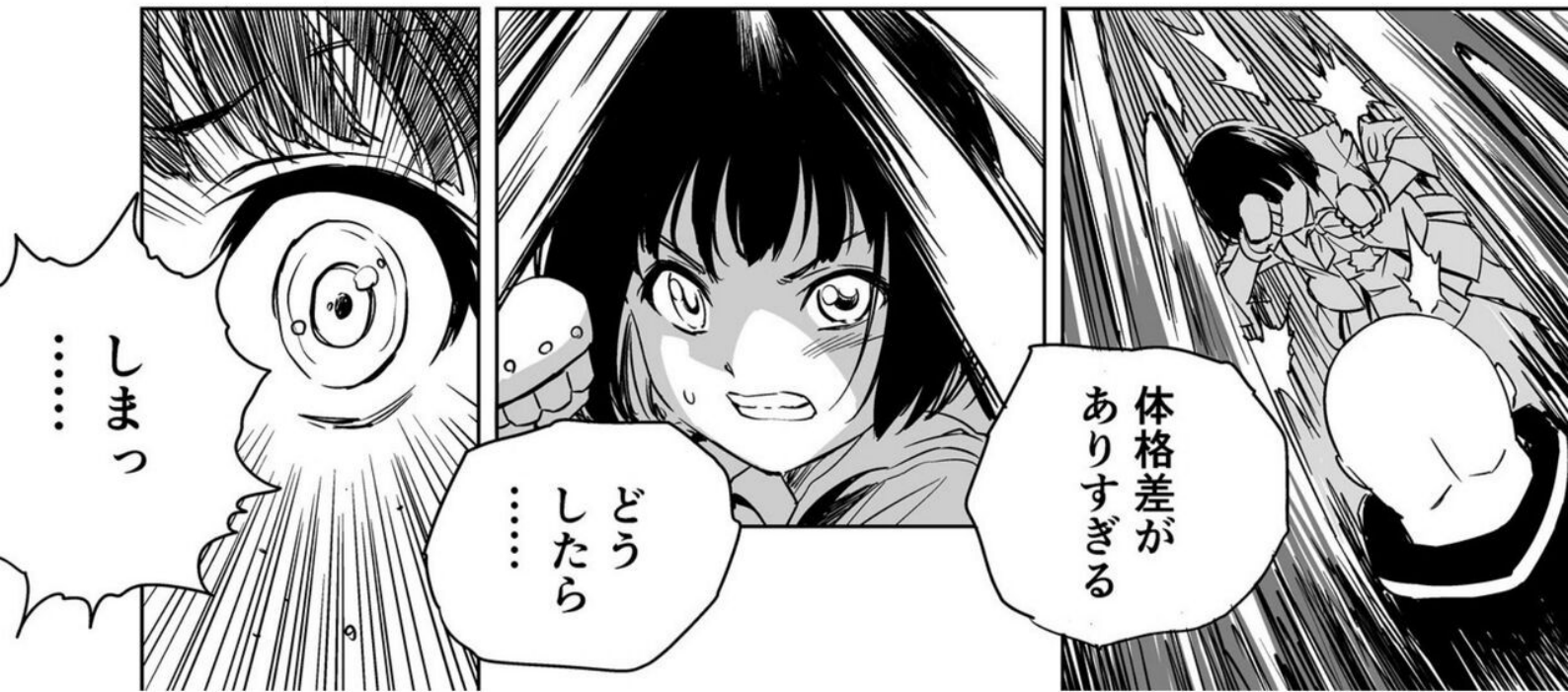


エリーゼ  
さん



その  
程度か

なっ!?



体格差が  
ありすぎる

どう  
したら  
……

しまっ  
……



あまき  
あまき



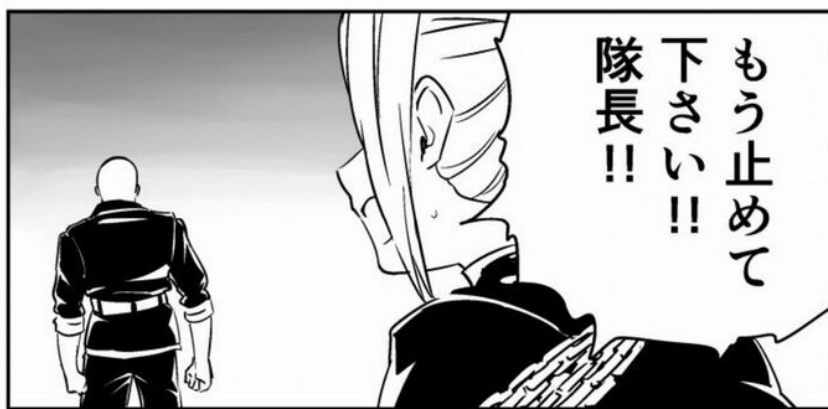
かほっ

ふん  
弱いな

エリーゼ  
さん!!



いったい  
どうしたって  
言うんですか!?



私が入隊  
した時の  
隊長は

こんな事  
する人じゃ  
なかった  
はずで

貴様が  
憧れてた  
人物など

最初から  
居なかった  
のだよ

隊長

鉄道  
警備隊  
などと言う

地位も  
名声も  
無い仕事

元から  
反吐が  
出る程に  
嫌いだった

……

そんな俺に  
アルビオンの  
話は

とても  
魅力的  
だった

この大陸を  
ゆくゆくは  
世界を  
手に入れる

巨大な組織の  
一員として  
働ける

……  
これほど  
魅力的な  
事は  
無いだろう？

……  
狂ってるわ

そう  
言うな  
キャロル

お前さえ  
良ければ

アルビオンに  
入れるように  
口を利いても  
良いんだぞ

お断り  
です!!

私はこの  
鉄道の  
警備隊です

鉄道を利用する  
皆さんの安全は  
私が守る!

守る

……  
だど？





嫌  
っ



!! 放して

どうした？

死にかけの  
乗客が  
居るぞ？



俺を  
倒さなくても  
良いのか？

はあ..

はあ..

早く

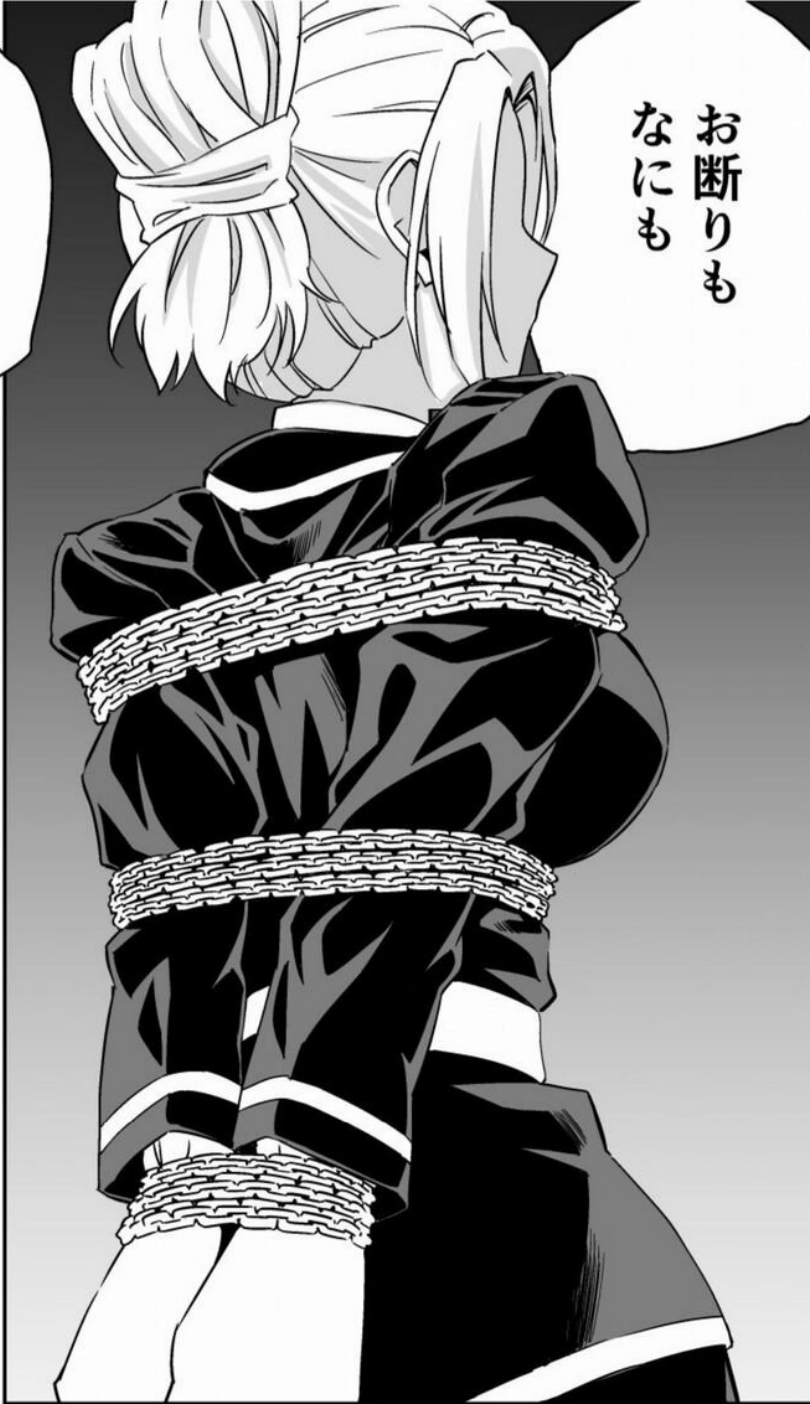
早く  
立ち上から  
ないと

駄目  
……

いやっ

……  
やめ

力が  
はいら  
ない



お断りも  
なにも



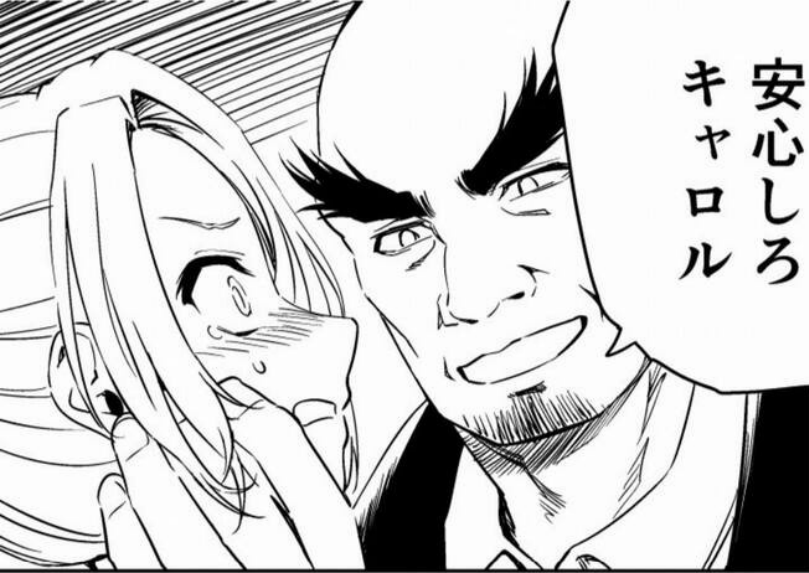
縛られて  
何も  
出来ない

弱い奴は  
そうやって  
何も出来ず



誰も助ける  
事も出来ず

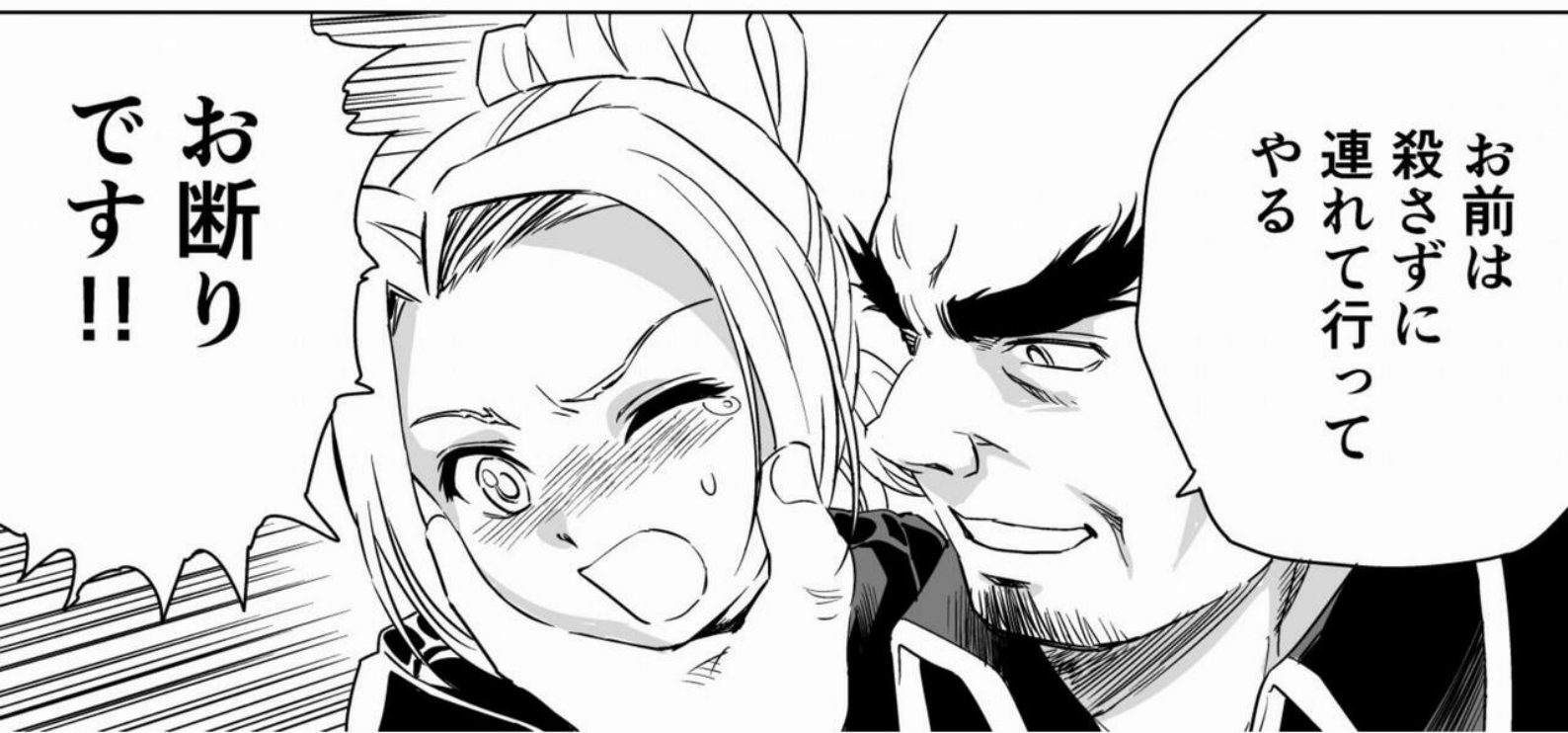
強い奴に  
されるがままに  
生きていくしか  
ないんだよ



安心しろ  
キャロル

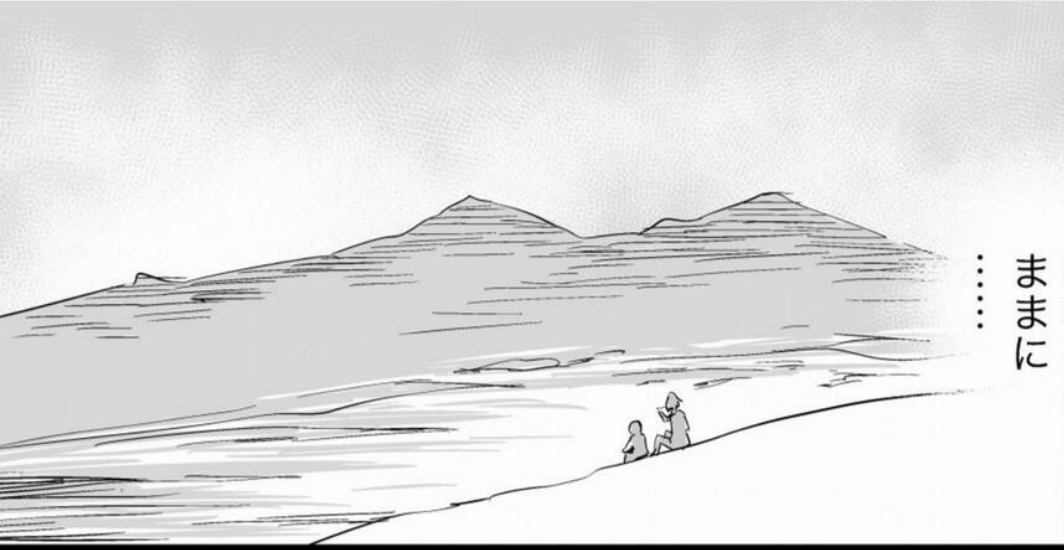


お前は  
前から  
気に入って  
たんだ



お前は  
殺さずに  
連れて行って  
やる

お断り  
です!!



……  
ままに  
されるが



……  
強い奴に



……  
強く  
なりたい  
じゃと



なぜ……  
いや  
「何の為」に  
強くなりたい  
んじゃ？



……  
うん



大切な友達が  
盗賊に襲われて  
「殺された」の

「アネッタ」ちゃん  
だったか

……  
可哀想  
にの

……  
だから  
私は……

……  
もう  
二度と

大切な  
友達を  
失わない  
様に

強く  
なりたい

教えて  
おじいちゃん

私に

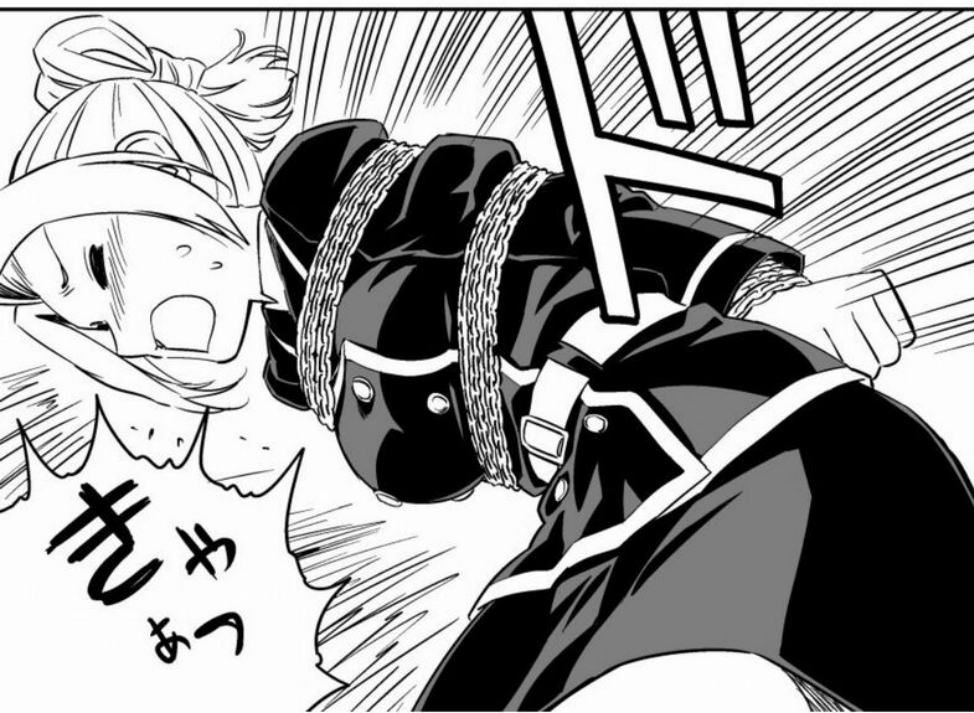
くすのきりゅう  
「楠流」の  
闘い方を

……  
どこで  
それを  
聞いた？

お父さんと  
お母さんが  
話してるの  
聞いたの

お祖父ちゃんは  
東の大陸で  
最強の格闘家  
だったって

……  
まったく



馬鹿な  
女だ

大人しく  
倒れてれば  
楽にして  
やったものを

はあ...

はあ...



エリーゼ  
さん

逃げ  
!!



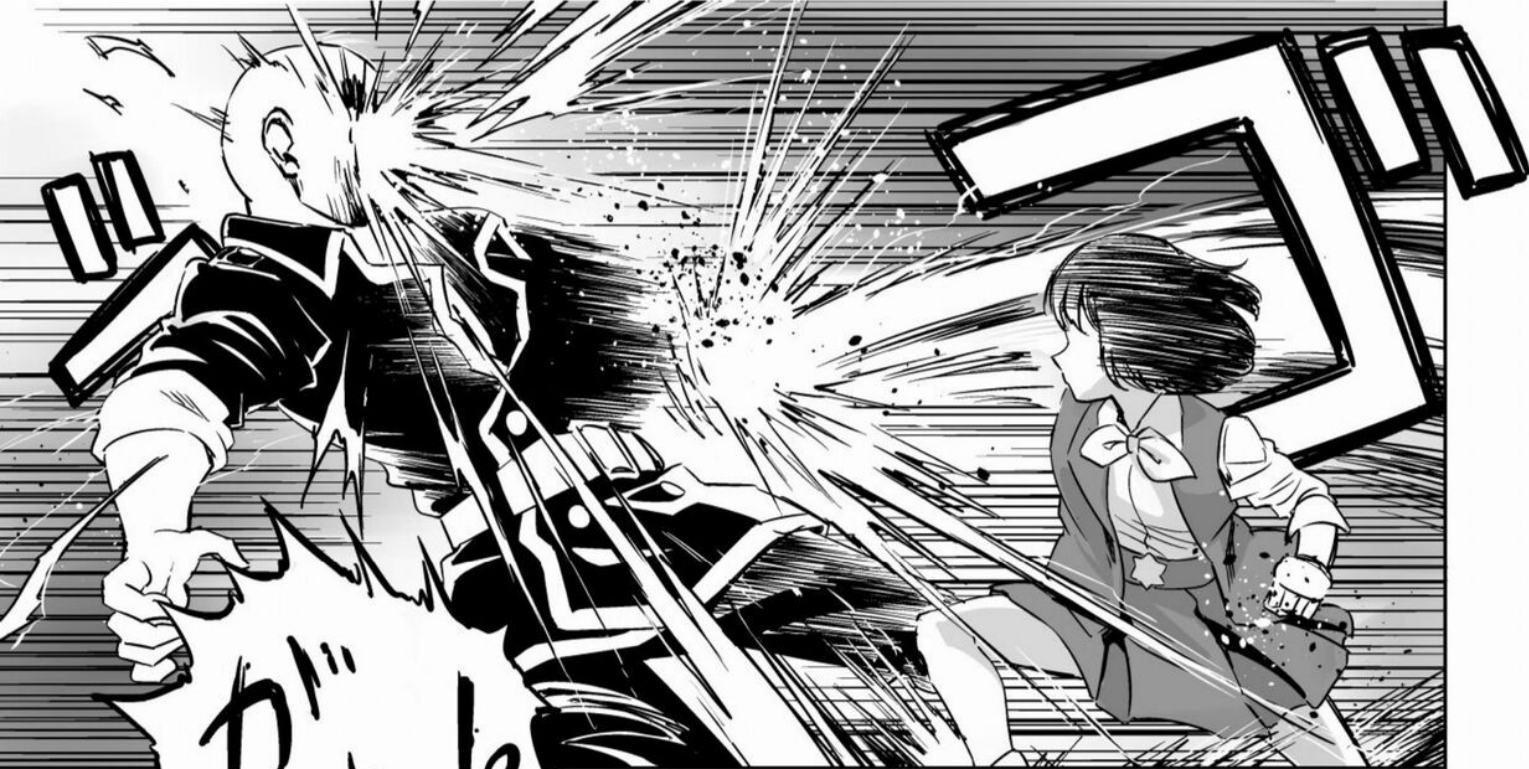
.....  
?



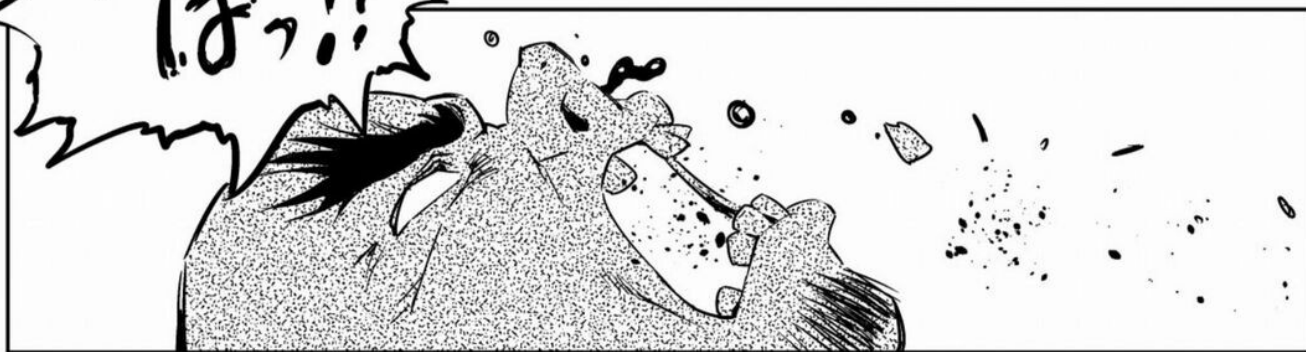
はあ

はあ





かっはっ!?



呼吸法  
……?  
……?







え？

……



まあ  
待て

そ  
そんな事  
ないよ!!

筋肉を  
付ける事など  
「いつでも」  
出来る



……  
速さ……

力ではなく  
「速さ」じゃ



エリーゼに  
身につけて  
ほしいのは



さあ  
修行開始  
じゃ!!



物を避ける  
特訓じゃ

そうじゃ  
まずはその  
動きにくい  
状態で



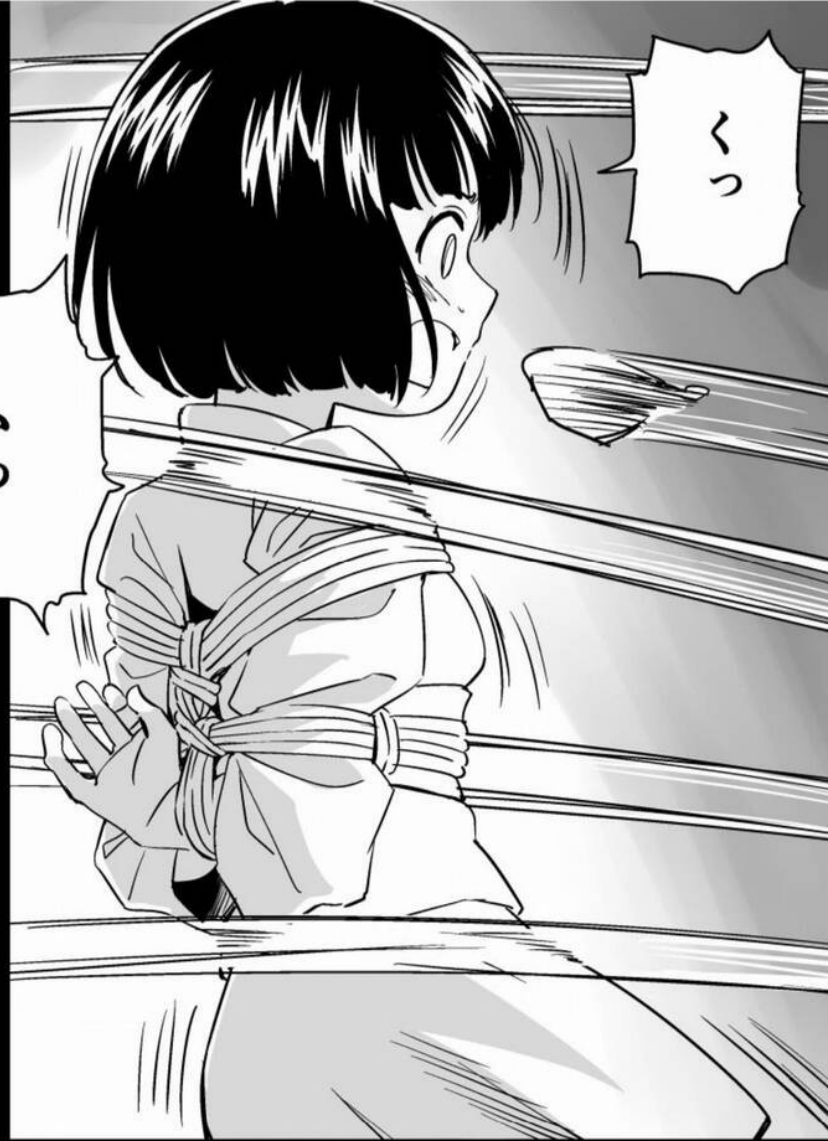
当たると  
そこそこ  
痛いぞ

これには  
砂が  
つめてある



痛い!!?





そして  
息を止める  
瞬間を  
意識するんじゃ!!



はあ



呼吸を  
忘れるな

空気を  
吸う時と  
吐く時



目を  
瞑るな!!



袋の軌道を  
見極め  
るんじゃ!!

最後  
まで

空気を  
吸う

吐く

息を  
止める



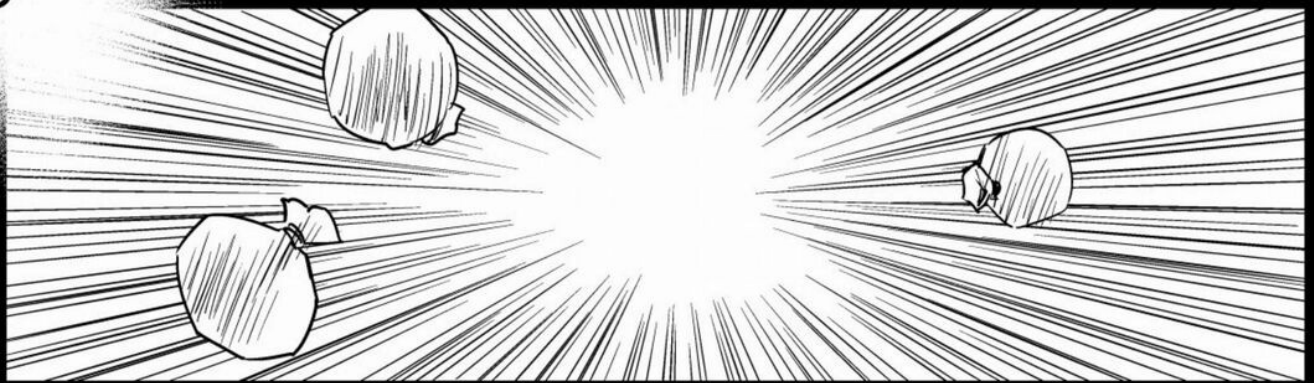
目を  
瞑らない



最後  
まで



軌道を  
見極める



呼吸  
を：



呼吸  
を：



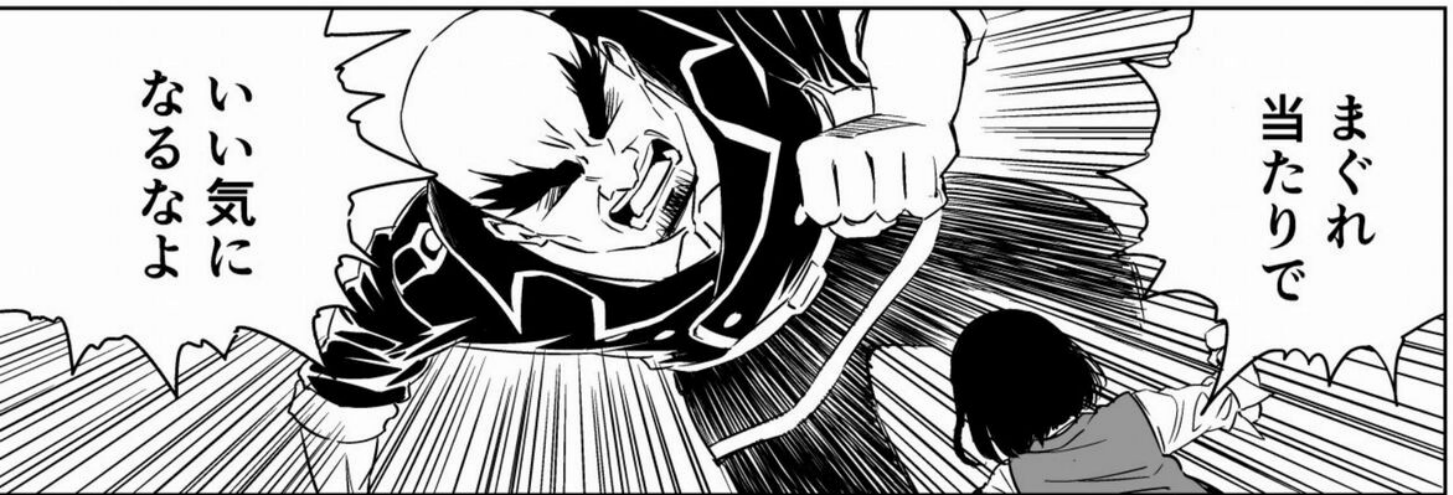
はあ！

すう…



いい気  
になるよ

まぐれ  
当たりで





私が

強く  
なりたい  
理由よ



ふざけた  
事おおオオ  
オオオ!!



ギギリ!



そう  
じゃ

奥義？

かっこ  
良さそう！！

うん  
うん！！

決め技は  
持っておいた方が  
良いじゃろ

カウンター  
だけで  
相手を  
倒せれば

大抵の  
人間の  
弱点は

ふおおふお  
ふお

それに越した  
ことは無いが

だからな  
エリーゼ

そう

顎じゃ

顎？

思い切り  
相手の  
下から

ぶっ飛ば  
すんじゃ

くすのきりゅう  
**楠流!!**



**!!! 奥義**





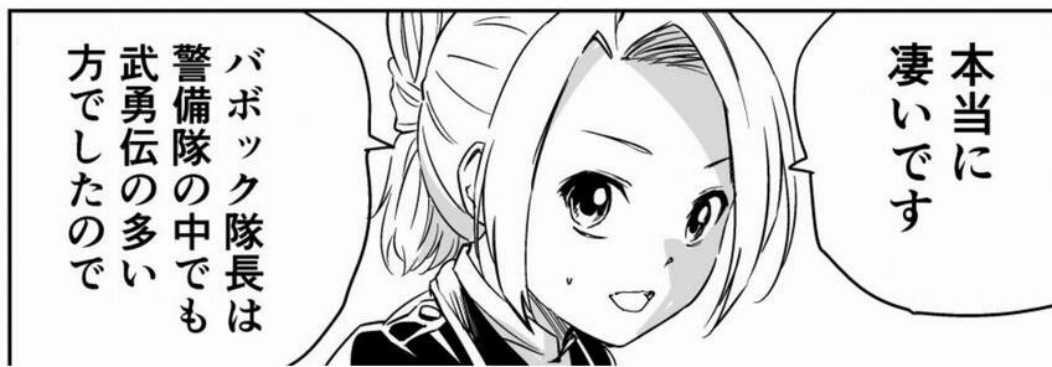
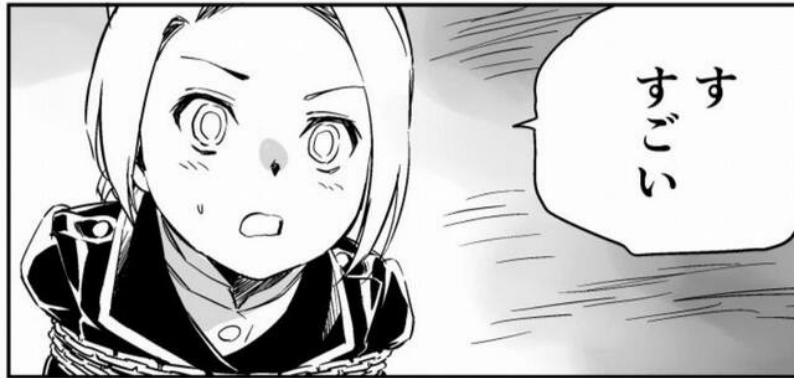
鉄てつ

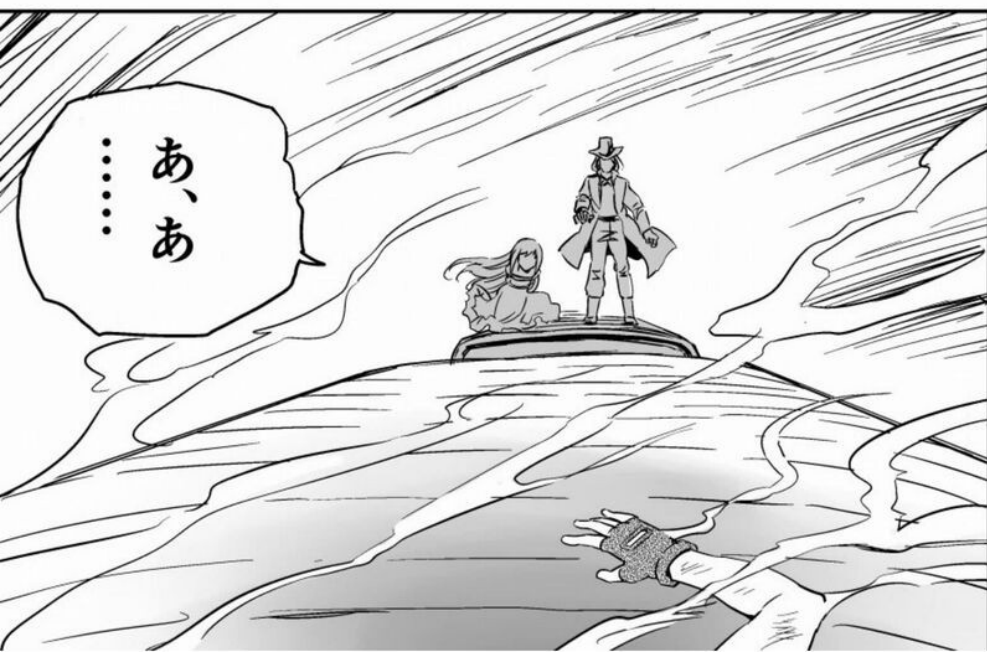
鼻びし

拳けん

!!









アネツタ  
さあん!!

アネツタ  
さあああ  
あん!!



悪いな  
嬢ちゃん

さっさと  
降参した  
方が

身の為  
だぜ

# 第9話 「二人の女と鉄の拳」